

# なごやの学童保育

## 市連協ニュース

2020年度 No.2/8月4日発行  
 名古屋市学童保育連絡協議会  
 TEL(052)-872-1972  
 FAX(052)-308-3324  
 E-Mail:info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

## 定員超えで入所不可41人

### 待機児童アンケート まとまる

昨年度よりみなさんにご協力いただいた「待機児童アンケート」がまとまりました。その結果、名古屋市の学童保育所でも、名古屋市が長年「ゼロ」としてきた「待機児童」が発生していると考えられる状況がわかりました。

このアンケートは名古屋市学童保育連絡協議会(市連協)が2019年10月から20年6月にかけて実施しました。加盟161カ所の学童保育所に依頼し、101カ所から回答を得ました。それによると、「入所を断った児童数」は計48人。理由の内訳は「定員オーバー」が41人、「(学区などの)対象外」が2人、「アレルギー対応が困難」が1人でした。(※詳細は市連協のホームページに掲載しています)

「入所を断られた児童」が即「待機児童」とカウントされる訳ではありません。しかし入所を断った児童数が1カ所で平均で0.5人いたという現実は無視できるものではないはずです。

名古屋市も待機児童の状況を把握するアンケートを始めます。学童保育を必要とする子どもすべてが学童保育所に通えるようにするには、一層の行政の支援も必要です。現状を行政に知ってもらうため、正確に回答し、確実に提出しましょう。

## コロナ禍対応など情報交換

### 区連協会長会議

市連協は7月21日(火)、市内各区の学童保育連絡協議会(区連協)の会長による「区連協会長会議」を名古屋市中区金山の愛知労働会館で開催しました。2020年度の名古屋市への要望や新型コロナウイルス感染症に関連する助成金の詳細を確認。各区や各学童保育所でのコロナ禍で

の対応について情報や意見も交換しました。

各区連協の会議や各学童保育所の保護者会については、6月までは遠隔会議アプリによるリモート開催や中止、7月以降は開催という報告が多くありました。運動会などの区連協主催のイベント、夏のキャンプなどの学童保育所の行事は中止したところが大半でした。

お互いが顔を合わせられない中、区連協の役員同士や学童保育所の保護者同士の関係をどう築くかに苦慮しているとの発言もありました。「子どもたちのトーチを見たい」との理由からデイキャンプなどを別途企画しているという報告もありました。「コロナ禍の第二波にどう備えるか」についても情報を共有しました。

## 受け入れ状況調査で報告集

### 市連協・しょうがい児部会

市連協のしょうがい児部会は、「しょうがい児受け入れ状況調査報告集」を作成しました。2018年に名古屋市内14区86学童保育所にご協力いただいたデータを基に、しょうがい児を受け入れている学童保育の現状と障害児受入推進助成が目的のとおり使われているかなどをまとめました。

7月に各区連協を通じ全学童保育所に配布しました。指導員だけでなく役員をはじめ保護者のみなさんにも読んでいただきたい報告集です。

### ホンネ学習交流会のお知らせ

テーマ：しょうがいのある子どもと

学童保育の生活を考える会

9月26日(土)10時-12時 愛知労働会館・東館5階  
 参加費200円(お茶、資料代)

(対象：しょうがい児の保護者・指導員・関係者)

しょうがいのある子ども学童保育で仲間と過ごすことの意味と大切さ。しょうがい児の保護者と指導員がしょうがいへの理解を深め合うために、日本福祉大学の木全教授から専門的なお話をうかがいながら、ホンネを出し合い交流しましょう。

各学童保育所にチラシを配布 9/12までに裏面で申し込みを

## 保育や子育てのヒントここに

### ほいく誌普及拡大会議

市連協と愛知学童保育連絡協議会（県連協）は7月19日(日)、「ほいく誌普及拡大会議」を開きました。遠隔会議アプリの利用も含め、県内から40人が参加しました。

「ほいく誌」とは、学童保育の月刊誌「日本の学童ほいく」（1部・消費税込み340円）の通称です。子どもの学童保育での生活の様子、指導員や保護者の手記、子育て論、行政の施策など、多彩でわかりやすい記事が掲載されています。指導員の日々の保育の助けとして、保護者の子育てや学童保育運営の支えとして、1人でも多くの人に読んでもらうにはどうしたら良いかを5グループに分かれて話し合いました。



グループ討議後の報告は次の通りです。

- ◎読み合わせ（輪読）だけでは良さが伝わりにくい。課題を抱えた子の保護者に関連の特集を勧め、保護者会で発表してもらうとよい。
- ◎毎年、連協内でほいく誌担当の学童保育所を決め、交流会を開いている。
- ◎ほいく誌の売り上げの一部が市連協や県連協の活動資金になる。もっと知ってもらうべき。
- ◎購読1部のみの学童保育所に呼びかけを。
- ◎購読数の少ない学童保育所では、目につくところに置く、メールで紹介するなど、まず知ってもらうことが大事。
- ◎今年初めて読んだが、子育ての指針になり、指導員の苦労もわかる。まず保護者会で読み合わせをしたい。

今年は新年度が始まる4月以降、コロナ禍で保護者会の中止が続きました。「ほいく誌」をPRしたり、読み合わせをする機会も減り、購読

部数も伸び悩んでいます。しかし大変な今だからこそ、学童保育の良さを再確認できたり、保育や保護者会運営、子育てのヒントを見つけられるのも「ほいく誌」ならではのものです。まず手に取ってみてください。購読者は感想の共有を。

## 新型コロナ関連施策を比較

### 政令指定都市学童保育交流会

市連協は7月18日(土)、全国の政令指定都市にある学童保育連絡協議会とともに「政令市交流会」をリモートで開催しました。市町村間で異なる施策の情報を共有し行政への働きかけに生かすのが狙いです。今年のテーマは新型コロナ関連でした。各報告は以下の通りです。

【北海道】飲食店などが助成を受け食材を活用し学童保育に5月末まで毎日100食弁当を提供。

【仙台】子どもは学童保育が開所する2時まで学校預り。学童保育の登所自粛への保育料返還は早期に示された。もともと保育料3000円。

【さいたま】8時30分-16時は学校で子ども受け入れ。「学童も開所を」と市。休んだ子の保育料返還分は1日3万円の加算。

【川崎】マスクや消毒薬を送ってくれた。3月は国基準の補助金出た。その後はまだ出ていない。学校が午前中は場所提供。学童保育は午後から。人数制限したところは保育料返還の動き。

【横浜】補助金は基本、国基準通り。「包括支援事業（50万円）も年度内使える。保育料返還補助は国基準の500円で持ち出し。市の単独事業「福祉事業者への収入源補填」（上限300万円）も。市民広域活動助成申請中。上限30万円の9/10。

【名古屋】助成はほぼ国基準通り。保育料返金分は全額補助の見通し。事業継続応援金10万円、子育て事業応援5万円で計15万円補助。県からも別途10万円出る。

【広島】子どもの預りは学校で、その後13時から学童保育で。有料化の検討をやめるよう要請したが「やめない」と市が返答。（現在は保育料無料）

【岡山】マスクや消毒液を市が現物支給。コロナ手当、満額の50万円は難しい。

【堺】プレハブや空き教室で開所し100人以上が半分以上。「5、6年生は登所自粛を」と市がホームページで呼びかけた。おやつ全面中止。

【大坂】開所の自治体判断がすぐ変わり混乱した。守口市では学童保育の企業委託で指導員13人解雇。係争中。

【京都】4、5月は登所自粛なら保育料返還。

ストレスをためた子どもの様子、連協の活動や指導員研修が思うようにできない状況などの報告もありました。第2回が8月9日(日)に開かれます。（千葉、神戸は8月に報告）